



2003年7月1日発行  
発行人：堺 充廣  
発行所：神戸市中央区海岸通 8  
神港ビルディング 5 階 509  
TEL/FAX：078-393-0050  
(TEL・FAXが同じです。)  
E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
URL：<http://www.kobekeio.org/>  
編集：堀 友子・八巻 晤郎

## ～ 6 月例会レポート ～

徳丸公義 (昭 54 商)

夕方から雨脚が強くなった 24 日に 6 月度の会合が倶楽部ルームで開催された。本日の出席者は足元の悪い中 20 数名と部屋は満員御礼の状況だ。堺幹事長が所要のために私が急遽代打で司会をする。

講師は、塾の先輩の京都産業大学経営学部教授の安永利啓氏(昭和 45 年商博卒業)である。



講師：安永利啓氏

テーマは、「国際会計と日本の会計ビッグバン」。時流に乗ってはいるが堅い内容だ。皆さんの反応はどうであろうか？との私の心配をよそに安永先輩は、財務諸表の体系に始まり各種財務分析(流動比率、自己資本比率等)を株式会社ダイエーの過去の決算書をベースに、よみなく解説を進める。以前からすでに債務超過になっていることや流動資産を相殺後の 1 年以内に返済すべき流動負債が 7,000 億円に上ること。加えてこの数年の国際会計の動きとわが

国の対応と今後の会計課題にも触れられた。鋭い質問も飛び交い、盛り上がる。

その後初参加者の春田並子さんの自己紹介。この春法学部を卒業したばかりの素敵なお嬢さんである。お試し参加というものの、是非当倶楽部へ入会してほしい。

その後連絡事項をいくつか経て 8 時過ぎに散会。やはり夏場はクーラーが切れると暑い。

再び雨の中へ。

## 瀬戸雄三先輩の講演決まる！

神戸慶應倶楽部元幹事長で、アサヒビール株式会社相談役 **瀬戸雄三先輩**(昭 28 法)にご講演をしていただくことが決まりました。

8 月例会は休会の予定でしたが開催いたします。日程は、**8 月 21 日(木)午後 6 時 30 分**から。場所は、未定ですが、決定次第ご案内します。

**瀬戸雄三先輩**につきましては、ご紹介するまでもないでしょう。現在は、第一線をひかれています。相談役として全国各地でご講演をされ、大変多忙な毎日を送られています。今回は、我々当倶楽部の後輩のために時間をとっていただきました。是非、ご講演をお聞き下さい。

また、講演終了後は懇親会の開催を予定しています。(場所・会費は未定)

多数の会員の方にご参加いただきたいと思います。スケジュールの調整をお願いいたします。

なお、大丸の**奥田会長**にも秋にご講演をお願いする予定にしています。(幹事長：堺 充博)

神戸の鉄道史をたどれば(その一)

官営鉄道開通と山陽鉄道会社の設立



市居 嘉雄(昭二十九経)

慶応二年(一八六六)に福澤先生は『西洋事情』を著わされた。この中の「蒸気車」の項で、鉄道の由来・仕組み・効用などを啓蒙的に詳述された。

それから三年後の明治二年(一八六九)の廟議で、東京・京都間などの鉄道建設を決めたが、この計画には当時激しい反対もあった。しかし、同五年には早くも新橋・横浜間が日本初の官営鉄道として開業した。

次いで大阪・神戸間が同七年五月十一日に開業し、この日は見物客が集まってこつた返したという。当時の三ノ宮駅は今の元町駅の場所にあり、神戸駅から僅か一・五キロほどの寂しいところであったが、居留地が近かったため設けられたのである。

大阪までの途中駅は初め旧三ノ宮と西宮だけで、翌月に住吉と神崎(現尼崎)が開業した。神戸・旧三ノ宮間が当初複線、他の区間は単線で、すべて地上に敷設された。天井川の石屋川、住吉川、芦屋川は川底トンネルを掘った(石屋川は日本初の川底トンネル)。

神戸駅を兵庫港の東にあった福原遊郭を含む約七万坪の土地に建設する際、土地の大半は兵庫の富豪が寄贈した。当初の神戸駅舎はモダンなつくりの木造で、明治二十二年に神戸・新橋間の東海道線が開通した時には、装いも新たに立派な駅舎となった。

神戸・大阪間の所要時間は一時間十分、料金は上等一円、中等七十銭、下等四十銭。米が一キロ五銭の時代のことである。

明治二十年ごろになると、日本中に私鉄設立ブームが起きてきて、同二十一年一月に山陽鉄道会社が設立された。現在のJR西日本山陽本線の前身である。この鉄道は最初神戸・姫路間として同十九年に出願されたが、政府の要望を受け入れて神戸・馬関(赤間関ともいった、現下関)間の幹線鉄道に計画を変更した。

兵庫・明石間の開業が同二十一年十一月、神戸・兵庫間は翌年九月に開業して東海道線とつながった。本社は兵庫駅前に置かれた。

初代社長には三十四歳の中上川彦次郎氏が就任した。中上川氏は安政元年(一八



中上川彦次郎氏

五四)今の大分県の生まれ。母は福澤先生の姉さんだから、先生の甥に当たる。明治二年慶應義塾に学び、英国に留学した。帰国後は政府に仕官したものの、同十四年の政変で官界を去り、時事新報社長となった。その任中に三菱を通じ山陽鉄道の社長就任を要請され、井上馨・藤田傳三郎両氏の推せんもあり、福澤先生の了承をえてこれを受けたという。海外で身につけた合理的手法で山陽鉄道の経営に当たった。後年には三井財閥の近代化に尽力した。



荘田平五郎氏

また、当初の常議員(役員)の中に荘田平五郎氏の名が見える。弘化四年(一八四七)今の大分県出身で、明治三年慶應義塾に入り、のち教授となった。三菱の支配人として三菱系各社の創立に参画し、重工業育成や丸の内街開発の功労者である。

福澤先生は米国で土木工学を専攻した次男捨次郎氏もやがて山陽鉄道に入社させており、それほど同社への関心が強かったといえる。(次号に続く)

# 会員だより

## 愛犬同伴ホテル・ペロはまなこ

三上 元 (昭 43 商)

神戸に住んで 20 年になるのに、最近やっと会員になった者です。第三の故郷が神戸で第二は東京、第一の故郷は生まれて 18 年過ごした浜名湖です。

昨年 4 月に、浜名湖周辺の同級生人脈に声をかけ、30 人を超える仲間が出資をしてくれて、8 室のプチホテルを浜名湖に開業しました。普通のホテルではなく、愛犬と泊まるホテルです。ブルーガイド社ムック「ペットと泊まる宿」にも広告を載せ、ホームページも開いています。

(<http://www.perro-h.com/>) ペロとはスペイン語で犬の事です。

私が 社長の役ではありますが、神戸に住み経営コンサルタントとして全国を走り回っていますので、支配人はインターネットで公募し、35 組中から選んだ若夫婦が務めています。小泉流まる投げの経営スタイルです。

特色は、目の前が浜名湖 (500 年前から実際は浜名湾と言う方が正しい海水) で全室オーシャンビュー、ウッディーな内装と広い窓と高い天井のリゾートムードのプチホテルです。ワンちゃん専用のプールと 200 坪のドッグランが隣りにあるのが魅力です。

東名高速・浜名湖サービスエリア (三ヶ日インター) から車で 20 分ですが、神戸から浜名湖までが 4~5 時間かかってしまいます。東京からも同様な時間を要しますが、人気のテレビ番組「ポチタマ」に 4 月登場した事からお客様が少しずつ増えてきました。ナイアガラのカナダ側でコックをしていた料理自慢も人気のひとつです。

基本理念は「友、遠方より来たる。また楽しからずや」と大切な友をもてなすところです。並な料金で、少ししゃれたサービスのプチホテルなのです。お待ちしております。

会員の皆さま、自由投稿をお待ちしています。  
ご遠慮なくどしどし原稿をお寄せください。  
ご意見・ご感想をお聞かせください。

## 『全国大学三田会のご案内』

松岡 美佳 (昭 60 文)

2003 年 6 月 1 日、全国大学三田会会報「三田アカデミア」創刊号が発刊されました。

安西塾長の「待望の大学三田会に期待する」というタイトルの巻頭言、そして、わが神戸慶應倶楽部の福井 有先輩や安永利啓先輩が堂々と登場!! (恥ずかしながら、なぜか松岡の拙文も)

会員として、大学関係者をはじめ、美術館、博物館、図書館、新聞・TV 等報道ジャーナリズムで活躍される塾員を募集しています。会長の濱野成生先生 (日本女子大学教授) は、今後の抱負として、「会員諸君の著した立派な学術書や日本を動かすような評論、感動的な著述を奨励し、紹介していただけること。学術面での大いなる成果を報告していくこと。安心して働ける職場への情報の提供が出来ること。共同執筆者のリクルート。喜怒哀楽を互いに忌憚なく語り合える機会を持つこと」と書かれています。また会員の専門分野を一覧表にまとめて、各三田会からの講演の申し込みに応えることについても、徐々に整備していこうとしているとも。

もし当会にご興味のある方、さらに詳細な情報を入手希望の方がいらっしゃいましたら、松岡までご一報ください。

## “ B R B トピックス ”

### 不良的中年のススメ

深尾 敦 敦会員 (昭 52 法) 再び登場!

オヤジ臭く、オバサン臭くなりたくない!

「年をとるほど時間は充実。パワー全開!」

中高年期は人生最高のバカンス。思ったらずぐに行動。これぞまさしく不良中年のススメ!

「友達の誘いは断るな。」をモットーに今日も快調に人生をエンジョイしています。

(5 月 31 日付・毎日新聞広告局特集より抜粋)

「神戸では静かにしてるよ!」と和田会長から太鼓判を押された自他共に認める不良(?)...

## 絵画同好会

グループ展を開催しました。

**誌上展覧会** を附録に付けています。ファイルが開けない方は、ご連絡ください。  
八巻 晤郎



## ゴルフ同好会

~KLA との合同コンペのご案内~

**7月11日(金)** オリエンタルゴルフ倶楽部  
スタート時間は9:20 アウトスタート(5組予約)  
料金はプレイフィー セルフ 9800円  
(但し女性全てと男性の60歳以上は7800円)  
セルフプレイとしますが、キャデイ付きのご希望があればご連絡下さい。(プラス4000円)  
その他昼食代、懇親会費、賞品代がプラス  
参加ご希望の方は、7月4日(金)までに**近藤**  
幹事にお申し込みください。

### 『ゴルフ雑感』 近藤 正(昭S39商)

「下手な横好き」といわれてもしょうがないが、下手は下手なりに結構ゴルフを楽しんでいる。長年の会社勤めもおさらばしたので、このところゴルフ場に通う機会が増えた。そのせいか、最近多少スコアアップしたが、長年のくせは一向に直らない。素振りではゆっくり振れるクラブも、ボールがあるとつい打ち急いでしまう。普段は、そんなにせっかちな性分ではないと思うのだが、ゴルフになるとからきしダメだ。これでは「早打ちマック」といわれても仕方がない。鷹揚なせいか、大叩きしてもプレー後の爽快なビールを飲むほどに、ラウンド中の多くのミスショットを、都合よく忘れ去り、わずか数発のナイスショットやパットの甘美な思い出に浸り、次回こそは優勝を・・・と、健闘を夢見るパターンの繰り返した。

ゴルフをしながら、人間模様を観察するのも楽しみの一つである。明らかにスコアを過少申告して平気である人や、プレイ後自分のスコアミ

スを理由に優勝を辞退した人などいろんな人達に出会った。そんな時、人間性を垣間見ることが出来る。私も、バンカーで何回打ってもボールが出ない時などは、つい頭に血が上り、スコアが分からなくなることもある。最近、大叩きしても割合冷静で、シングルのパートナーから「(いくら叩いても)スコアの申告は正確ですね」と変なほめ方をされる。上手な人は他人のスコアもカウントしていることを知った次第である。

今後も健康を維持し楽しい交友のためにゴルフを続けたいと思っている。

## テニス同好会

7月26日に六甲アイランドテニススクエアにて同好会定例会をします。午後3時~5時までで、その後、ビールを飲みに行く予定です。

世話人：茂木立仁

## KKJC 情報

### 小川理子ソロ10周年記念リサイタル

神戸のサマーパーティでお馴染みの小川理子さん(昭61理工)が、コンサートを開きます。  
**7月18日(金)7:00 pm** 大阪市中央公会堂(中之島)お問合せは(有)あべづらん(06-6635-0049)  
<http://www.abepian.com/> まで。  
小川理子さん宛ての励ましのメッセージ等は、にお寄せください。

同好会としては、特に企画はしていませんが、お知らせだけしておきます。

## Dr.高田の書籍紹介

高田育明(昭51医)

鈴木 厚著「日本の医療に未来はあるか~~間違いだらけの医療制度改革~~」 ちくま新書

日本の医療制度改革(改悪)に対し、客観的なデータをあげ、問題点を的確に指摘した話題作です。日本の医療に強い関心をお持ちの皆様には是非一読いただきたい本です。

誌面の都合で全文掲載は割愛させていただきました。詳しい内容をお知りになりたい方は、事務局にご連絡ください。コピーを送らせていただきます。(編集部)

玉田和子会員より

上村達雄（昭 18 経）  
（千葉県在住）

## 『人生偶然だらけ』

人生とは偶然から偶然への綱渡りだというのが 82 才の感想だ。

文学部の後輩に U さんという神戸学院大学の先生がいなかったら、塾での 65 才定年後の己れは神戸のその大学へ呼ばれることなしに、どこでどうしていたか分からない。さらにその大学の栄養学部に O・U 女史がおられなかったら、神戸慶應倶楽部の存在も知らずに、玉田和子さんからのこのリレーもなかったはずだ。また同倶楽部の副会長に聖公会の主教 Y 師がおられなかったら、偶然聖公会に属していた私もその教会にかよう身とはならなかったはずだ。

すべて偶然の産物だ。さらに 7 才も年長の荊妻にアルツハイマーの兆候が見え初めて、なぜか某生保から千葉に出来る有料老人ホームの PR が舞い込んで、つい食指を動かしたのも偶然だった。

そもそもは関西永住のつもりで芦屋の住居を購入していたのに、伴侶の病状悪化にたまりかねて、そのホームに移り住み、3 年間だけ千葉から神戸へ“痛勤”する羽目になった。そして合計 8 年間の関西体験に終止符を打って 3 年後に、あの大地震だ。あの朝からテレビ画面にあふれ返る惨状を見るたびに、心に打ち寄せる大波のことはもう語るまい。平穏だった日々に神戸で培った友情の数々を思い、偶然の連鎖で老人ホームに身を置く今をありがたいと思うのみだ。

バトンは紀伊国谷隆君（昭 55 商）へ渡したい。

## ○ワグネル・コンサートのお知らせ

昨年の「コーラス 花の早慶戦」に続いてのワグネルのコンサートです。7 月 21 日（海の記念日）に東西四大学 OB 合唱連盟演奏会（OB 四連）がフェスティバルホールで開かれます。

お問合せは、森田和男氏（昭 40 商）（関西ワグネル三田会・芦屋三田会）

間森 坦会員より

横田洋子（昭 49 文）

## 『音訳』

昨年、年代替わりを機に何か新しい事を始めてみたいと思っていたところ、ある日の夕刊に“新聞音訳ボランティア募集”の文字。視覚障害者のための専門ラジオ放送番組で新聞を音訳するものだ。国語力の筆記テストを経た後 3 ヶ月の講習を受け、昨夏から活動を始めた。日刊全国紙の朝刊・夕刊とも生放送。私は主に月 2～3 回夕刊を担当している。4 紙を二人で交互に読んでいくが、午後 4 時前後に夕刊がスタジオに届いて 4 時半から 6 時までの生放送。ほとんど初見に近い。講習会でアクセント・呼吸調節・発音・鼻濁音・母音の無声化の練習など勉強したが、まだまだの上地名や人名などは自分で知識として日頃から頭に入れておかななくてはならず、言葉や文字に対する意識が大幅に変わった。

新聞音訳は喜怒哀楽を出さず淡々と読まなくてはならない。今まで経験してきた朗読や、アマ司会とは違う。言い含める様にはなく、内容を把握しつつ新聞をスピーディに確実に伝える事が必要とされる。新聞を声に出して読むことで初めて気がついたが、私はいかに“目”で読んでいたとか。正確に読む事のむずかしさを実感する日々。80 歳を越し未亡人で一人暮らしの実家の母に、毎日「天声人語」を声に出して読む事を勧めた。発声は健康に良く、読む事は頭の体操にもなる筈。それにしても「茨木（市）」も「茨城（県）」も「いばらき」。「日本橋」東京では「にほんばし」大阪では「にっぽんばし」などなど・・・ふむ、覚えることがいっぱい！

次は、井垣誠一郎さん（昭 58 法）にペンを譲りたい。



このコーナーは、リレー式に輪をつないでいくものです。前走者から指名された方は、快くお引き受けください。そして、輪を二重三重に上げていこうではありませんか。（編集部）

## ～7月度家族例会例会のお知らせ～ ご家族そろっての参加をお待ちしています！

### サマー・パーティ

日時：7月12日(土) 18時より

会場：ポートピアホテル南館4階

#### テラスバンケット **レヴァンテ**

いつものレインボールームではなく、プールサイドのテラス風宴会場です。

会場はガラス張りで見やすく、暮れ行く夜景を楽しみながら例会を進めたいと思います。

会費：男性会員 **8,000円**

女性及び卒後10年未満の会員 **6,000円**

ビジターは男性 **8,000円** 女性及び中学生

以上の男女 **6,000円** 小学生以下無料です。

### オークション あります！

恒例のウッチーワンマンショー(?)を開催します。今年はどんな趣向で楽しませてくれるのでしょうか？ きっと期待を裏切らないことでしょう… お楽しみに！

倶楽部財源確保のため、当日は皆様からたくさん品の提供とお買い上げをよろしくお願ひします。

また当日欠席の方、大きな物、重い物を出される方はホテル宛てに送っていただければありがたいです。送料につきましては、勝手ながら各自ご負担願ひます。

#### 送付先

〒650-0046 神戸市中央区湊島中町6-10-1

神戸ポートピアホテル 南館クロック気付

7/12 神戸慶應倶楽部届

Tel: 078-302-1111

配達日指定：7月12日午前中

### ちよつと雑学

#### 「カビの功罪」

カビは悪者なのか？…イメージが悪くてかわいそう。あると困るし、なければまた困る(?)いまカビの活用が期待されています。

塾発行の「三田評論」6月号に専門家の対談が載っています。この時期に相応しいテーマです。

## ～今後の行事予定～

○8月21日(木)8月度例会は開催します。

講師：**瀬戸雄三氏** アサヒビール(株)相談役

8月例会は休会の予定でしたが、開催いたします。

場所・時間等は決まり次第お知らせいたします。

○9月11日(木) 月見例会 ルミナス乗船

○9月12日(金) 慶早ゴルフ対抗戦

○10月22日(水) 10月度例会 倶楽部ルーム

○11月16日(日) 関西合同三田会

詳細につきましては、決まり次第BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご覧ください。

### ○大阪慶應倶楽部からのお知らせ

#### 第73回大阪慶應倶楽部創立記念祝賀会

日時：7月17日(木) 18:30～21:00

会場：南海サウスタワーホテル8階

「浪華の間」(Tel: 06-6645-1111)

会費：8,000円(平成6年卒以降の方5,000円)

記念講演「小泉改革の行方」

講師 慶応義塾大学法学部教授：小林良彰氏

参加の方は、大阪慶應倶楽部にお申込ください。

(Tel: 06-6202-0516 Fax: 06-6202-4185)



#### 編集後記

○沖繩ではもう梅雨が明けたとか。紫陽花の色の移ろいも、うつかりすると見過ごしてしまえそう…。今月号はカラフルなオマケ付きでお送りしました。(ほ)

○社中の心で市居先輩が神戸の鉄道史について語られます。神戸と言えば「港と船」は浮かんでも「鉄道」はさっぱり。しかし開業当初から中上川氏が経営に携わり福澤先生の関心も強かつたとか。先人の活躍を通して神戸を別の角度から見られそう。(晤)